

ヤフー株式会社 様

User Profile



ヤフー株式会社様

本社所在地：〒107-6211
東京都港区赤坂9-7-1
ミッドタウン・タワー

事業概要：インターネット上の広告事業、イーコマース
事業、会員サービス事業、その他事業

導入時期：2012年5月

URL：http://www.yahoo.co.jp

Web検索をはじめ、オンラインショッピングや交通機関の乗り換え情報など、生活に関するあらゆる情報をインターネットを通じて提供するヤフー株式会社。ユーザ向けサービスとともに社内インフラの強化にも力を入れている。



ヤフー株式会社
情報システム本部
社内インフラ統合部
リーダー
清宮 寛司 氏



ヤフー株式会社
情報システム本部
社内インフラ統合部
小西 亨 氏

ミッションクリティカルなシステム保守の 迅速な対応を可能にするVDI環境 セキュリティ確保のためのログ取得に 「IVEX Logger for Desktop」を採用

POINT

- 安全で迅速なシステム保守対応を実現するVDI環境の構築
- VDI環境でも必要なログを全て記録可能
- セキュアで安定したVDI環境のひながたとして柔軟な社内展開が可能に

影響範囲の大きいシステムの保守を 従来以上に「爆速」に

ヤフー株式会社は現在、「爆速」をキーワードに、サービス体制などの大幅な刷新を進めている。その流れを受け、より速く、ダイナミックな動きを実現するために、社内にあるリソースを最大限に活用することが求められている。

「ヤフーでは膨大なユーザ向けのサービスを数多く提供していますが、それを支えるための社内向けサービスの利便性を上げ、情報の活用を推進するのが私たちの仕事です。」

ヤフー株式会社 情報システム本部 社内インフラ統合部のリーダー、清宮 寛司氏は業務についてそう紹介してくれた。もちろん、情報の扱いやすさだけでなく幅広いサービスの運用に影響するような業務に利用されるシステムにおいては、高い安全性と可用性が求められると清宮氏は言う。

「情報を最大限に使い倒すためには、セキュリティが確保され常時使用可能な状態を維持することが必要不可欠です。そのため、ミッションクリティカルなシステムに関して障害が発生した際には可能な限り短時間で修復作業を行なわなければなりません」

もちろんこれまで、影響範囲が広いシステムに関しては、技術者が現地に急行して緊急対応できる体制を取っていた。しかし「爆速」をキーワードにした改革の中で、より速い対応が可能なのではないかと再検討が行われた。「技術者が常に全ての現場でスタンバイできる訳ではないので、従来の体制ではどうしても移動時間

が発生しました。その時間を短縮すべく導入を検討したが、VDIを使った障害対応の仕組みでした」

システムメンテナンスに必要な 安全性を確保するためにログを記録

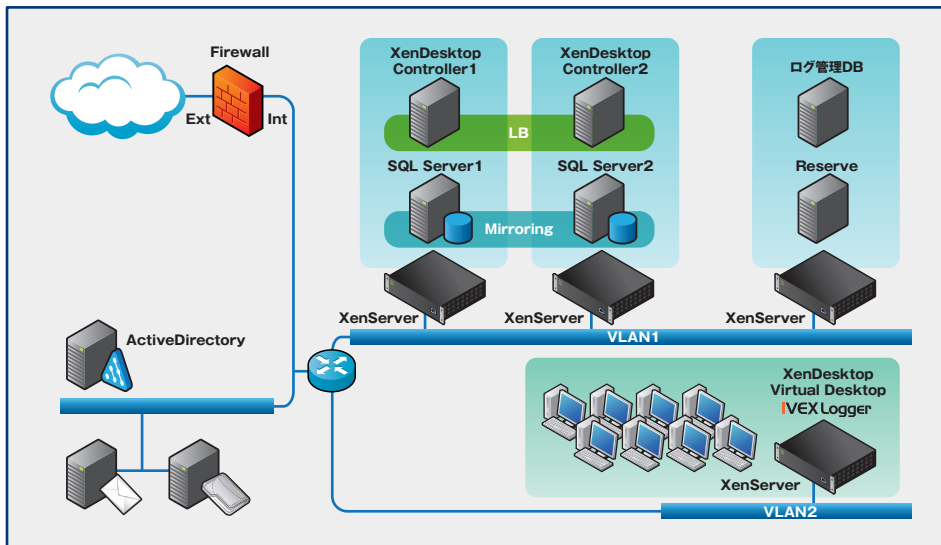
オンラインでデスクトップ環境を提供するVDIなら、技術者はリモート操作によりその場にながら使い慣れたデスクトップ環境を使用しての障害対応が可能で、なおかつ端末側に情報を残さないでセキュリティ面でも安心できる。しかし、その実現までにはひとつのハードルがあった。

「迅速な対応のためには、どこからでもVDIを利用できなければ意味がありません。しかし、外部からの接続に関しては、セキュリティ面への配慮から慎重にならざるを得ず、利便性とセキュリティの両立が課題となりました。」

ヤフー株式会社 情報システム本部 社内インフラ統合部の小西 亨氏はそう言い、講じられたセキュリティ対策について説明した。業務に使うPCにはセキュリティソフトのインストールが義務付けられており、それに加えてリモートアクセスの入口をセキュアにすることでネットワークの安全性を確保することにした。さらに、ミッションクリティカルなシステムのメンテナンスに利用するという点を考慮して、操作ログを記録することになった。

「従来利用していたセキュリティ製品はVDI環境でのログ取得は対応しておらず、ベンダに要望は出しましたが対応に時間がかかりそうだったので、他の製品を検討することにしました。」

こうして、要望に応える新たなログ製品の選定



が行なわれた。選ばれたのは、アイベクスのIVEX Logger for Desktopだった。

柔軟な環境適応性と、取得ログの詳細さにより IVEX Logger for Desktopを選択

製品選定に際して挙げられた要件は、いつ誰が、どこで何をしたということがわかること。従来のデスクトップとは違い、VDI環境でこれらのログをきちんと取得できる製品は多くない。候補はすぐに、IVEX Logger for Desktopを含む3つの製品に絞り込まれ、それらを実際に利用して取得可能なログの検証が行われた。

「取得可能なログの細かさでは、IVEX Logger for Desktopに敵う製品はありませんでした。またVDI環境への対応の柔軟さでも、IVEX Logger for Desktopは優れていました。他製品では、VDIの方式により取得可能なログに違いがありましたが、IVEX Logger for Desktopは全方式にきちんと対応していました」

小西氏は比較検討時を振り返りながら、IVEX Logger for Desktopの印象をそう語ってくれた。また、詳細なマニュアルが付属しており、インストールや設定に悩むこともなかったと言いつつ添えた。

こうしてVDI環境が構築され、技術者約20名を対象に運用が始まった。2011年秋のことだった。VDI環境でのログ取得という課題を速やかに解決したIVEX Logger for Desktopがあったからこそ、スピーディな環境構築と提供開始を実現できたと、清宮氏と小西氏は声を合わせる。運

用開始後は技術者の業務効率が向上し、万一の障害時にもすぐさま対応できるようになったため、技術者やシステム保守関係者からは利便性向上を喜ぶ声が聞こえているという。

営業支援用VDI環境へ横展開 情報活用のための安全な環境を提供

技術者向けのVDI提供開始から1年足らずの2012年初夏、社内インフラ統合体ではさらに大規模なVDI環境を追加構築した。きっかけとなったのは、営業担当部署からの要望だったと清宮氏は語る。

「営業担当者はiPadを持ち歩いています、すべての社内ツールがiPadに対応している訳ではありません。Windowsデスクトップの環境が必要な業務を行なうためには、一度帰社する必要があります。この課題を解決するために、iPadからアクセスできるVDI環境を作れないかと相談があったのです」

この要望に対して、既に技術者向けに提供しているVDI環境をひながたにして横展開することで、営業支援用VDI環境を構築することになった。既存環境をベースにして必要な数のデスクトップ環境を簡単に増やせるというVDIのメリットを活かせるうえ、システムメンテナンスを目的に作られているためセキュリティ面でも申し分ない。

「セキュリティ面では技術者向けのVDI環境ほど高い要望はありませんでしたが、それでも社外で様々な情報を扱う端末ですから最低限の対策は

必要です。また、万一のインシデント発生時のログとして活用するだけでなく、利用実態の把握という面でもログは活用しています」

小西氏はそう言い、IVEX Logger for Desktopのレポート機能について触れた。営業支援用VDI環境は約100名を対象にしており、投資額も小さくはない。そこで、投資効果を検証するために活用実態について毎週チェックしているのだという。VDIの仕組みにはこうした集計機能が備わっていないが、IVEX Logger for Desktopのレポート機能を使えば利用者数や利用傾向を簡単に把握できる。

今後の社内展開にも安心して臨めるセキュアなVDI環境

スマートフォンやタブレットなどのスマートデバイス対応は、ユーザ向けサービスだけではなく社内インフラにおいても進んでいる。いつでもどこからでも自由に情報にアクセスできる仕組みを整備することで、情報資産の活用は進むが、情報を使いこなすためには、堅固なセキュリティ対策が前提条件になると小西氏は言う。

「情報活用の自由度を確保するために求められるセキュリティは、アクセス制限やネットワークセキュリティだけではなく、誰がいつどこで何をしたのかというログも記録していかなければ、万の際に企業としての説明責任を果たせません。そのために、VDI環境でも詳細なログを取得可能なIVEX Logger for Desktopが担う役割は大きいと期待しています」

業務スピードの向上という要望にこたえ、社外でのタブレット活用も支えるVDI環境は、技術者からも営業担当者からも好評だ。今後も現場の要望に合わせて、VDI環境の社内展開が進んでいくだろうと清宮氏は展望を語る。

「IVEX Logger for Desktopがあったからこそ、短時間でセキュアなVDI環境を構築し、安心して提供できています。IVEX Logger for Desktopは機能面で優れているだけではなく、国内ベンダーで開発されているため、改善要望への迅速な対応にも期待しています。今後も社内活用が進めば進むほど、細かい要望なども出てくるかと思いますが、IVEXさんとともに課題を解消しながら社内インフラの品質向上を進めていけるといいですね」

アイベクスの製品だけではなく、ベンダーに対する期待にもじませながら清宮氏はそう語り、インタビューを締めくくった。



本社 | 〒101-0024
東京都千代田区神田和泉町1番地3-3 タイワビル
TEL.03-5835-0268 FAX.03-5835-0264

テクニカルセンター | 〒963-8014
福島県郡山市虎丸町5-8 日宝郡山第一ビル
TEL.024-953-6045

※掲載されている会社名および製品名、ロゴは各社の登録商標または商標です。